I T活用商業科学習指導案

作成者 教育センター指導主事

- 1. 校 種 高等学校
- 2. 対象生徒 第2学年
- 3. 教科等 商業科・簿記
- 4. 単元名 本支店会計
- 5. 単元の指導計画(総時数 8時間)
 - 第一次 本支店の取引
 - 1時 支店会計の独立
 - 2時 本支店間の取引・・・・・・・本時
 - 3時 支店相互間の取引の記帳

(第一次の計 3時間)

- 第二次 本支店の財務諸表の合併・・・・・・・・・・(2時間)
- 第三次 合併貸借対照表と合併損益計算書の作成・・・・(3時間)
- 6.本時の学習
- (1)題 目 本支店間の取引
- (2) ねらい 本支店間の取引に興味をもち、取引の記帳に自分からすすんで取組もうとする。

【関心・意欲・熊度】

本支店間の取引を、簿記特有のルールから考察し、適切に判断し仕訳しようとする。

【思考・判断】

I T 教材を使う意図

簿記は,企業の取引に応じた会計上の処理をするために,勘定科目の種類と名称を生徒に 覚えさせなければならない。そこで,Webページ上に配置された,勘定科目一覧の部品を 用い,授業の中で見せることによって勘定科目の種類と名称の定着を図る。

本支店の取引は,既習の企業間の取引とは若干ルールが異なるので,そのイメージを的確 に与えることが肝要である。そこで,本支店の取引をイメージさせ,それにともなう会計上 の考え方を掴ませるために I T 教材を使用する。

なお, IT教材は, 勘定記入と仕訳がコンピュータ上でできるようにプログラミングされている。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 Internet Explorer

(5)展開

瞯	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
7	 1 支店会計の 	○本支店間の取引に	・本時の学習の目標について	
分	独立	ついての学習目標	告ける ①	
浅		を知る		
- 得 ス		○ 本文店の取りでは, 支 庄 勘 定 ト ★ 庄 勘	と本支店の取引に用いる勘	
		又店砌足こ本店砌 定を用いろ ⁻ とを知	定について示す。 23	
		a a		
40		4		
分	• 4	本支店の取引について勘	定記入と仕訳を行う	
展	2 勘定への記	○貸産の増減と本文 店間に発生する	・現金を送付した場合の会計 上の考え方をアニメーショ	
開	八と江訳	占 间 に 光 生 9 る 頃 歩・信 姿 に つ い て 老	ンで示す ④	
		権損防にので与	・勘定記入と仕訳を上記④に	
		○考察を基に,勘定へ	基づいて行わせる ⑤	
		記入し必要な仕訳	・Webページに部品を配置する	
		を行う	手順について説明する	【関心・意
		○取引の背景を理解	・本店の負債を支店が支払っ	欲・態度】
		し,資産・負債の増	た場合の取引について,そ の背景と会計上の考え方を	本文店間の取
		減と本支店間に発	アニメーションで示す ⑥	51に興味をも た 取引の記
		生する債権・債務に		ら, 取引の記 帳に自分から
		○考察を基に,勘定へ	 ・勘定記人と仕訳を上記⑥に 基づいて行わせる ⑦ 	すすんで取組
		記入し必要な仕訳	・理解できていないと思われる	もうとしてい
		を行う	場合はもう一度説明する	る(観察)
		○ワークシートにも記	・ワークシートへも記入すること	
		入を行う	を促す	【田本、如座】
				【
	• 本	×支店の取引について仕 [、]	訳問題を解く	引を簿記のル
	3 仕訳練習	○勘定一覧などを参	・Webページで用意された	ールから考察
		考に,用意された問	問題を示す	し、適切に判
		題の解答を行う。さ	・ 麻合 が 遅れ ている 生徒 に 対 しては, Webページ に 配	断し仕訳しよ
		らに、ワークシートの	置された部品を移動し解法 を示す。	うとしている
		問題も解き、自己の		(
9		埋解度を測る。		
。 分	4 子習内谷の 確認しか時の	○文店砌正・本店砌定	・ 本時の考え方か次時の財務諸 車の全位に立画でもてこした。	
t I	1唯心と次时の 予告	を 使うに 歯 止 記 八 ど 付 訳 に つ い て 敷 理	れの市 ITIに必安 しのることを 告げる	
よと		する	ц 17 Ф	
Ø				
				: I T教材活用場面

(6) IT 教材の説明





地田を満います 本法(図の現4) 特別のノニュー

048842

木庄

①について

- ・本時の授業のタイトルページ
- ・学習の目標を生徒に知らせる。
- ・勘定一覧のボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示される。これによりいつでも勘定科目の意味をポップアップウィンドウで表示することができる。

<u>②について</u>

- ・各ページへのジャンプは、授業のメニューから行う。
- ・本店,支店のイメージ付けとどのような取引 があるか概略を示す。

<u>③について</u>

(本店の総勘定元候) 支店

(債権の増加)

(体務の減少)

(債務の増加) (債権の減少)

支圧の総勘定元帳

(債権の場加)

(情報の増加)

(債権の減少)

- ・本店と支店のアイコンをクリックすると支店 勘定と本店勘定が表示される。
- ・本単元で学習する本店の支店勘定,支店の本 店勘定の概略について説明する。



<u>④について</u>

- ・勘定記入と仕訳のページのリンクをクリック すると表示されるダイアログ
- ・ボタンのクリックでアニメーションがスター
 トする。
- ・現金を送付した場合の会計上の考え方が示される。





00mm##0 (本吉の経動定元候) 支店 (支店の総制定元明) 本 店 *2.2.6 300.000 200.000 200,000 300,000 支店 本店 ① 本店は、支店に、現金を送付し、支店はこれを受け取った場合を考える。 現金 300,000 300.000 ② 支店は、本店の買掛金を現金で立て替えて支払い、本店はその通知を受けた場合を考える。 異掛金 200.000 現金 200,000 本店の住訳 支店の住訳 #2150011版 #2152 <u>200.000</u> ほ 金 300,000 #2111 金 200.000 ほ 宏 200.000 #2111 金 200.000 ほ 宏 200.000

		120年半月 120年半月 111日	5/18.85 (RED)(1-	
	4智問題 加会計が独立している〇人教事の次)) 本書は支店に総会 ¥ 120,000日			west Colore PIR
	 支店は現金 ¥ 430、000 空本時の (3) 本店は支店振り出しの約束手形の 	出运预 代金¥1		
	2) 支持は現金4430,000至本時的 3) 太吉は支店服り出しの約束手形の	当年7月 代金 ¥1	悟 方	貸方
対応の注意	2)支店は現金¥430,000を本50 3)大店は支店服り出しの約束手形の 信 J	当67時 h金¥i 本店の仕訳	情 方 支 店 300,000	貸方 現金 120,000 仕入 180,000
対抗の行動 1 ¹² 支援の対抗 本 道 430,000 現金 430,000 現金 430,000 現金 430,000 調査 430,000 第 4 430,000	2) 安冻 (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	当応補 作金 ¥1 (1) 支汚の什袋	情 方 支 店 300,000 現 金 120,000 世 入 180,000	俳 方 現金 120,000 住入 180,000 本店 300,000
) 東京(3県会) 450,000営業(50)) 本店(3支活動)出しの約束手形の (信 5 (本店の住ま) 支店の住ま	当座市 水金 ¥ (1) 支持の什袋 本店の仕録	信 方 支店 300,000 戦金120,000 世入180,000 当研輸金 430,000	貸方 現金120,000 仕入180,000 本店300,000 支店430,000
	1支京には現金1450,000支车660 1支京には近る新い出しの10支手形の 体力 本価の住民 対応の住民 本価の住民	当座市 水金 ¥ (1) 支持の仕録 (2) 支持の仕録 (2) 支払の仕録	橋 方 支店 3000,000 紙金 120,000 仕入 130,000 単函確全 430,000 本店 430,000	貸方 現金120,000 仕入180,000 本店300,000 支店430,000 現金430,000
	 1 実施は狭金34,500,500 学科(54),500 ***********************************	当会社 ☆金 ¥ (1) 支持の仕録 (2) 支持の仕録 (2) 支持の仕録 (2) 支持の仕録 (3) 支持の仕録	橋 方 支 店 300,000 世 入 180,000 当回配金 430,000 本 店 430,000 支 店 650,000	 除方 現金 120,000 仕五 180,000 本店 300,000 支店 430,000 現金 430,000 当些現金 660,000

<u>⑤について</u>

- ④で示した考え方を基に勘定記入と仕訳を行う。
- ・必要な数字は「金額を出力」ボタンで、勘定 科目は「勘定科目出力」ボタンで表示する。
- ・上記で出力した金額と勘定科目はドラッグ操作で移動できる。

<u>⑥について</u>

- ・勘定記入と仕訳のページのリンクをクリック すると表示されるダイアログ
- ・ボタンのクリックでアニメーションがスター
 トする。
- 本店の買掛金を支店が支払った場合の背景となることへの説明と会計上の考え方が示される。

<u>⑦について</u>

- ⑥で示した考え方を基に勘定記入と仕訳を行う。
- ・必要な数字は「金額を出力」ボタンで、勘定 科目は「勘定科目出力」ボタンで表示する。
- ・上記で出力した金額と勘定科目はドラッグ操 作で移動できる。



- ・仕訳練習のページ
- ・解答を見る際のパスワードは半角数字の "123"に設定してある。